



知っていますか？ レジ袋のこと



F類 環境教育有志

はじめに

わたしたちF類環境教育のメンバーは、「エコへの一歩」として環境に配慮した行動への一歩を踏み出してほしいと、活動が続けてきました。「環境に優しいことをしたいけど、何をしたら良いんだろう?」と悩んでいませんか? できることはすぐ身近にたくさんあるのです。その1つがレジ袋の無駄使いをやめること。レジ袋と環境について少し考えてみませんか?

どのくらいレジ袋は使われているんだろう?

〈学芸大の小生では〉

なんと

500枚/日

(石油1リットル分)

〈日本全体では〉

0.82億枚/日

⇒305億枚/年

毎日、学部生の約10人に1人がレジ袋を小生でレジ袋を使っていることになります。

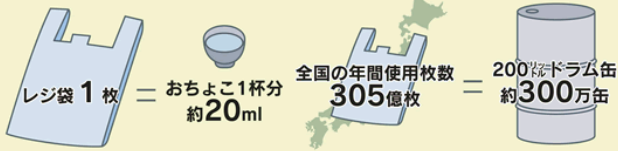
そのレジ袋は本当に必要ですか?

レジ袋を手取る前に、少し考えてみてください。

レジ袋が引き起こす問題

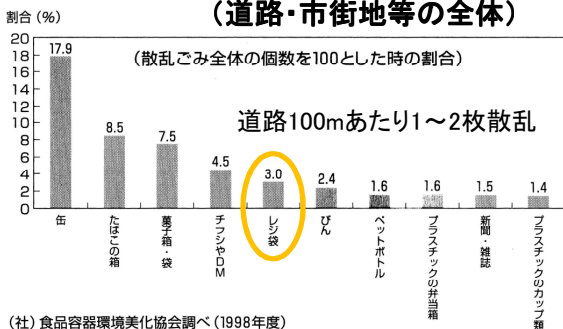
①資源の問題

レジ袋には、これだけの石油が使われています



日本の原油総輸入量の0.23%がレジ袋に使われています。製造・焼却過程で発生する温室効果ガスCO₂も問題となっています。

②ゴミの問題～散乱ごみの中のワースト10 (道路・市街地等の全体)

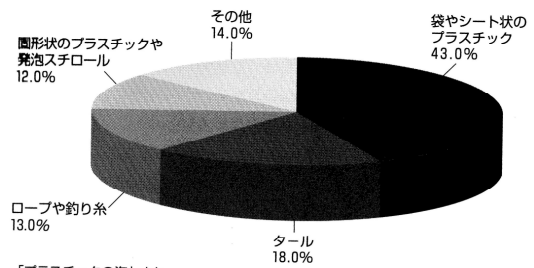


③動物被害

野生動物が餌と間違えてレジ袋を食べ、それが原因で死んでしまうことがあります。死んだ動物の胃の中から大量のレジ袋が出てくるのが少なくありません。



←池に捨てられるか、風で飛んできたレジ袋を鳥が食べてしまっている様子



「プラスチックの海」より

図:海ガメに摂食されている廃棄物の種類

マイバッグを持とう!

持ち歩きのコツ



- ①玄関の靴箱にフックをかけておく
- ②マイバッグの中に財布をいれる
- ③くるくるとまるめたレジ袋をいれておく

「ちりつも作戦」(枝廣淳子著「7分後、7年後の幸せなあなたへ」より抜粋)

「チリも積もれば山となる」「ちょっとぐらいだから、とよくないことをしていると、とんでもないことになりますよ」ということです。しかしこの「チリも積もれば」はまた真なりなのです。「チリも積もれば」というときに、「積もること」が問題なのではなく、「何が積もるのか」が問題なのです。

望ましいことは「チリを積もらせる作戦」を進めればよい。

《参考》舟木賢徳(2006)「レジ袋の環境経済政策」
群馬コープ HP(<http://gunma.coopnet.or.jp>)

マイバッグで得しよう!

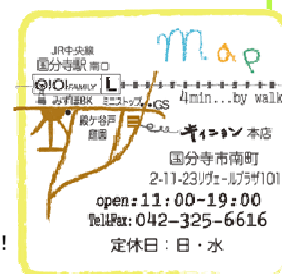
国分寺南口 ラブランジュリ キニヨン ~パン屋さん
マイバッグ持参で、5円引きサービス

(200円以上の買い物対象)

今年で6周年を迎えるキニヨン。7月からマイバッグ割引を始めました。5割以上のお客さんが利用しているそうです。



クリスマスの定番シュトーレンもありますよ!
今年はお茶と一緒にいかが?



国分寺市南町
2-11-23リジェ-ル9号101
open: 11:00-19:00
Tel/Fax: 042-325-6616
定休日: 日・水